愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトＢ		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業ではプロジェクト型授業として、沖縄をフィールドとして、参加型学習テーマを設定し、その課題解決に向けて、本学と沖縄大学、学外の機関・団体との連携・協働により実施する。テーマとしては、沖縄大学近隣地域の歴史・平和遺産を再発見する「フットパス」の取り組みに学び、本学周辺の平和が丘地域の平和・健康フットパスを制作する方法を実践的に学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	調査研究、実制作を伴う演習形式。沖縄でのフィールドワーク（6月予定）で学んだ手法を生かし、フットパス制作に向けて参加型共同学習を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学びのポイント、取組姿勢、目的と概要を確認。受講生の自己紹介。	□
第2回	沖縄の地域研究（歴史）	受講学生分担により、沖縄の歴史について共同学習を行う	□
第3回	沖縄の地域研究（平和）	受講学生分担により、沖縄の平和について共同学習を行う	□
第4回	フットパス研究	フットパスとは、イギリスで発祥した「歩くことを楽しむための道」公共の散歩道であるが、そのコースづくりの実践に学ぶ。	□
第5回	フィールドワーク準備	フィールドワークのための日程調整　研究分担の調整	□
第6回	フィールドワーク①　沖縄の歴史・文化	沖縄をフィールドとした歴史・文化学習	□
第7回	フィールドワーク②　真和志南地区歴史学習	沖縄大学近隣の真和志南地区の歴史遺産フィールドワーク	□
第8回	フィールドワーク③　真和志南地区平和学習	沖縄大学近隣の真和志南地区の平和遺産フィールドワーク	□
第9回	フィールドワーク④　真和志南地区自然学習	沖縄大学近隣の真和志南地区の自然遺産フィールドワーク	□
第10回	フィールドワーク⑤　沖縄の平和学習	沖縄の南部地域の戦争遺跡、平和祈念公園フィールドワーク	□
第11回	フィールドワーク成果の編集	フィールドワークの結果、インタビューを含む記録情報を編集	□
第12回	平和が丘フットパスコース制作①	平和が丘地域マップによる図上ワーク（平和遺産、健康遺産、自然遺産）	□
第13回	平和が丘フットパスコース制作②	図上ワークの結果を実際にウォーキングし、体感情報を記録する	□
第14回	平和が丘フットパスコース制作③	知識情報、体感情報を加えたフットパスコースをマップにする試作を行う	□
第15回	成果報告会	フィールドワーク成果としてのフットパスコースマップを発表（プレゼンテーション）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業時間内の事前学習事後学習のほかに、沖縄のフィールドワーク（3泊4日を予定）がある。また、平和が丘地域でのフィールドワーク、現地学習、関係者とのミーティング、打合せ、内容についての分担学習が各回4時間程度の自主作業が必要となる。 時間外活動が多く発生するため、スケジュール管理が求められる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

プロジェクトは随時進行状況が変化する。担当教員と履修メンバーはオンラインで資料を共有し頻繁な連絡を可能とする。 また、全員のコ

ミュニケーションを密にしてプロジェクトの進行をすることが、より実践的な業務遂行の学習機会とする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	沖縄の歴史・文化に関する専門知識と共同学習の経験を基に、創造的に考えたうえで、課題について的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

企画設定とその実施過程、実現したクオリティなどを評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じデータ配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		